

障害者アート商品に

Tシャツやタオルデザイン

知的障害がある人たちの絵画をTシャツやタオルなどにデザインして展示、販売する「DOアート・ラボ」が、21、22の両日、京都市中京区のゼスト御池で開かれる。城陽市中の支援施設「DO」の主催で、白樫孝施設長(55)は「障害者アートの人気が欧米を中心に高まっている。アートを仕事にしたい人のために、商品が売れる道筋を付けたい」と話す。

あすから中京で展示販売



「隕石製」刀剣宇宙へ思い

「売れる道筋を」 城陽の施設

知的障害のある人たちの絵をデザインした商品。イベントで展示、販売される(城陽市中・障害者支援施設 DO)

(中西英明)

1992年開所の「DO」は2003年から、利用者の絵画を展示する「DOアートジャンクション」を京都市内のギャラリーで開いている。6月の障害者文化芸術活動推進法施行を受け、障害者アートの商業的な可能性を探るため初めて企画した。来場者にアンケートし、買いやすい値段や売り方を探る。展示作品は全27種で、うち18種307点を販売する。さまざまな国の国旗が緻密に描き込まれた地図の絵をプリントしたタオルや、東京タワーを独自にデザインしたTシャツなどを並べる。描いた利用者の1人の川村章夫さん(56)は「どんな人が買ってくれるか楽しみです」と笑顔で話す。両日とも午前10時半〜午後7時。問い合わせは同施設0774(55)8800。

府民の消防賞選考委

6人と1団体内定



表彰者を内定した「府民の消防賞」の選考委員会(京都市中京区・京都新聞社)

防災や救助活動に貢献した消防職員や団員らを表彰する京都新聞「府民の消防賞」の選考委員会が19日、京都市中京区の京都新聞社であり、6人と1団体内定が内定した。賞は1983年に創設され、今年で36回目。選考委員は、河井規子・京都市市長会長、汐見明男・府町村会

この日は、委員や消防関係者ら12人が出席。府消防長と府消防協会の担当者が表彰候補者の推薦理由を述べた。同日は、委員や消防関係者ら12人が出席。府消防長と府消防協会の担当者が表彰候補者の推薦理由を述べた。

「ニューホール」が竣工

京都国際会館 1万人規模会議可能に

べた後、系
した。
表彰式は

2500
かにイ
ンホール
収容)の
れた。同
(2500)